

## センサと分子情報に基づく化学情報の可視化

講演者： 林 健司 先生

九州大学大学院 システム情報科学研究院  
情報エレクトロニクス部門 教授

日 時： 2019年7月25日(木) 15:00～

場 所： 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
22号館1階 マルチタスクルーム

### Abstract

匂いを代表とする化学物質が関係する様々な情報を可視化する技術が注目されています。匂いはその意味が分かりにくく定量化が難しい感覚量ですが、その情報価値は非常に大きいと期待されています。特に体臭や呼気など、人に関連した匂いはその情報価値が高く、近年、盛んに研究されています。しかし、見えないものが見えるようになるという漠然とした期待が持たれる中、具体的な匂いの計測と応用技術は明確化されていないのが現状です。本講義では化学情報を計測するセンサ技術と情報処理技術の開発を中心として、嗅覚の科学的・生理学的な知見、匂いの計測技術開発と匂い分子情報に基づく匂いの質の予測・可視化について解説します。特に、化学センサの基礎技術を見直す可視化技術とその応用に焦点を合わせ、その背景や技術を整理します。その上で生物に関連する匂いを計測するセンサ技術によってもたらされる匂い情報の価値の発見について展望します。